

みずほCustomer Desk Report 2020/10/19号 (As of 2020/10/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	105.35 AUD/USD
TKY 9:00AM	105.37	1.1706	123.32	1.2900	0.7089
SYD-NY High	105.44	1.1746	123.70	1.2962	0.7099
SYD-NY Low	105.19	1.1695	123.12	1.2860	0.7071
NY 5:00 PM	105.39	1.1718	123.49	1.2920	0.7078
NY DOW	28,606.31	112.11	日本2年債	-0.140	0.00bp
NASDAQ	11,671.56	▲ 42.32	日本10年債	0.020	0.00bp
S&P	3,483.81	0.47	米国2年債	0.146	0.41bp
日経平均	23,410.63	▲ 96.60	米国5年債	0.324	0.81bp
TOPIX	1,617.69	▲ 14.10	米国10年債	0.748	1.01bp
シカゴ日経先物	23,535.00	10.00	独10年債	-0.6235	▲1.15bp
ロンドンFT	5,919.58	87.06	英10年債	0.1800	0.05bp
DAX	12,908.99	205.24	豪10年債	0.7450	▲1.30bp
ハンセン指数	24,386.79	228.25	USDJPY 1M Vol	7.10	▲0.20%
上海総合	3,336.36	4.18	USDJPY 3M Vol	6.89	▲0.22%
NY金	1,906.40	▲ 2.50	USDJPY 6M Vol	7.10	▲0.13%
WTI	41.12	▲ 0.12	USDJPY 1M 25RR	-1.20	Yen Call Over
CRB指数	151.480	▲0.26	EURJPY 3M Vol	7.43	▲0.12%
ドルインデックス	93.68	▲ 0.17	EURJPY 6M Vol	7.69	▲0.14%

【昨日の指標等】

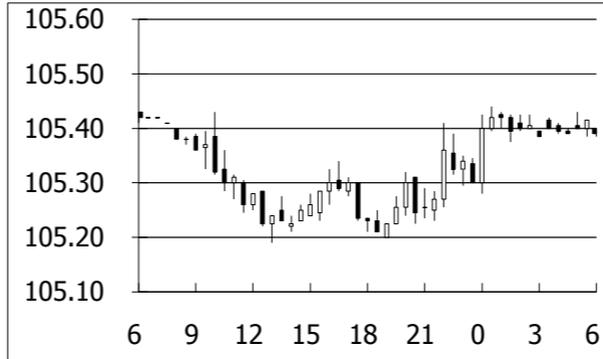
Date	Time	Event	結果	予想
10月16日	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	9月 0.1%/-0.3%	0.1%/-0.3%
	18:00	欧 コアCPI・確報	9月 0.2%	0.2%
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	9月 1.9%	0.8%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	9月 1.5%	0.4%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	9月 -0.6%	0.5%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	10月 81.2	80.5

【本日の予定】

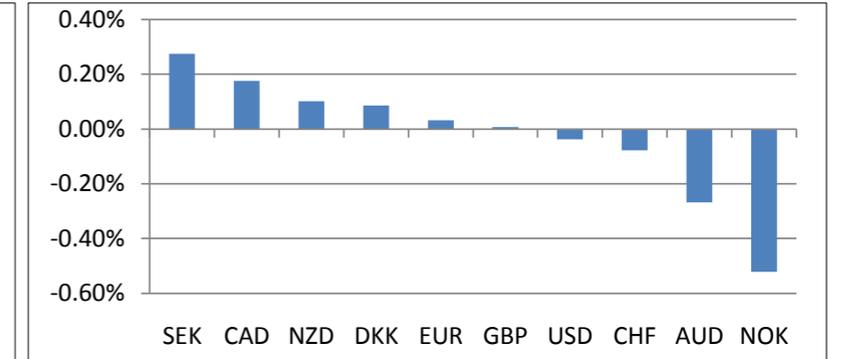
Date	Time	Event	予想	前回
10月19日	08:50	日 貿易収支	9月 980.7b	248.3b
	11:00	中 GDP(前年比)	3Q 5.5%	3.2%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	9月 5.8%	5.6%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	9月 1.6%	0.5%

東京	東京時間のドル円は105.37レベルでオープン。前日からのリスクオフの流れが意識されたほか、アジア株全般の軟調な動きも睨みながら一時105.19まで下落する場面があった。もっともその後は新規手掛かりに乏しく105.20台で小確りとした動きとなり、結局105.29レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は105.29レベルでオープンし、材料難で方向感なく狭いレンジで推移した。105.25レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2885レベルでオープンし、EUとの通商交渉に関するヘッドラインに激しく振られる展開へ。序盤は、ラブ英外相が英国もEU側も合意に前向きであり、達成できるだろうと述べたことからポンド買いが先行し、1.2962まで急騰した。しかし、正午にジョンソン首相が「EUは真剣な交渉を拒否した、合意なき離脱に向かうだろう」と発言したことを受けてポンド相場は一転し、一時1.2860まで急落した。その後、来週までには双方のスタンスは再び変わるだろうという期待感からか、ポンドの買戻しがやや入り、1.29台を戻して1.2912レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 マルヒル)
ニューヨーク	15日夜は中止された第2回米大統領候補討論会に代わって、トランプ大統領とバイデン前副大統領がそれぞれ別の場所でテレビ集会を開催したが、市場の反応は限定的で、海外市場のドル円は105円台前半で推移。日経平均の軟調推移に圧迫され105.19まで下落する場面もあったが、その後は方向感に乏しく推移し、105.25レベルでNYオープン。朝方は米9月小売売上高が予想を上回ったことを受けて上昇する米10年債利回りの動きを眺めながら、ドル買いが先行し、一時105.41まで上昇。10時に発表された10月シカゴ大学消費者マインド指数の予想以上の改善にドル円の反応は限定的だったが、ロンドンフィキシングにかけてドル買い優勢となり、高値105.44まで上昇。午後は週末前で積極的な取引が手控えられる中、105.40近辺で小動きとなり、結局、105.39レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロは1.1700近辺での横ばい推移でスタートするが、その後欧州株の上げ幅拡大を眺めながらユーロが買い戻され、1.1735レベルでNYオープン。海外時間の流れを引き継ぎ、オープン直後に高値1.1746をつけるも、その後、米金利の上昇を意識したドル買いに圧迫されじりじりと反落する。午後は1.1720近辺で上値重く推移。終盤に1.1713まで安値を更新する場面もあったが、結局、1.1718レベルでクローズ。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.00-105.80	1.1690-1.1740	122.90-123.90

【マーケットインプレッション】

先週末のドル円は105円台前半の狭いレンジでの取引となった。東京時間は、英国の通商交渉決裂への懸念によるリスクオフムードや軟調な日経平均株価の推移に105.20まで下落する場面もあったが、その後は方向感乏しく推移。海外時間は、米国時間朝方に発表された米小売売上高が市場予想を上回ったことで105.40台まで上昇。その後は、週末前で積極的な取引が控えられ、105.40近辺で小動きになりクローズした。今週は、週後半の米大統領候補討論会を睨みながら、105円台のレンジ取引が続くと予想。2週間後に控えた米大統領選や世界的な新型コロナウイルス感染拡大の動向、英国の合意なき離脱リスクの高まり等グローバルに先行き不透明な中、リスク回避のドル買いと円買いで、ドル円の膠着相場が続くと見込む。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 中森・鈴木 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ペア	ペア	ブル	ブル	ブル	ブル	ペア	ブル	ペア	ペア	ペア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ペア
ブル	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	ブル	ペア	ブル		8	13